

②水文観測所点検における安全対策について

(株) ウエノ

令和3年度水文観測所等見廻り点検業務
(工期：令和3年4月1日～令和4年3月31日)



○主任技術者 おおつか たかし
大塚 崇司

キーワード 安全管理、火山

1. はじめに

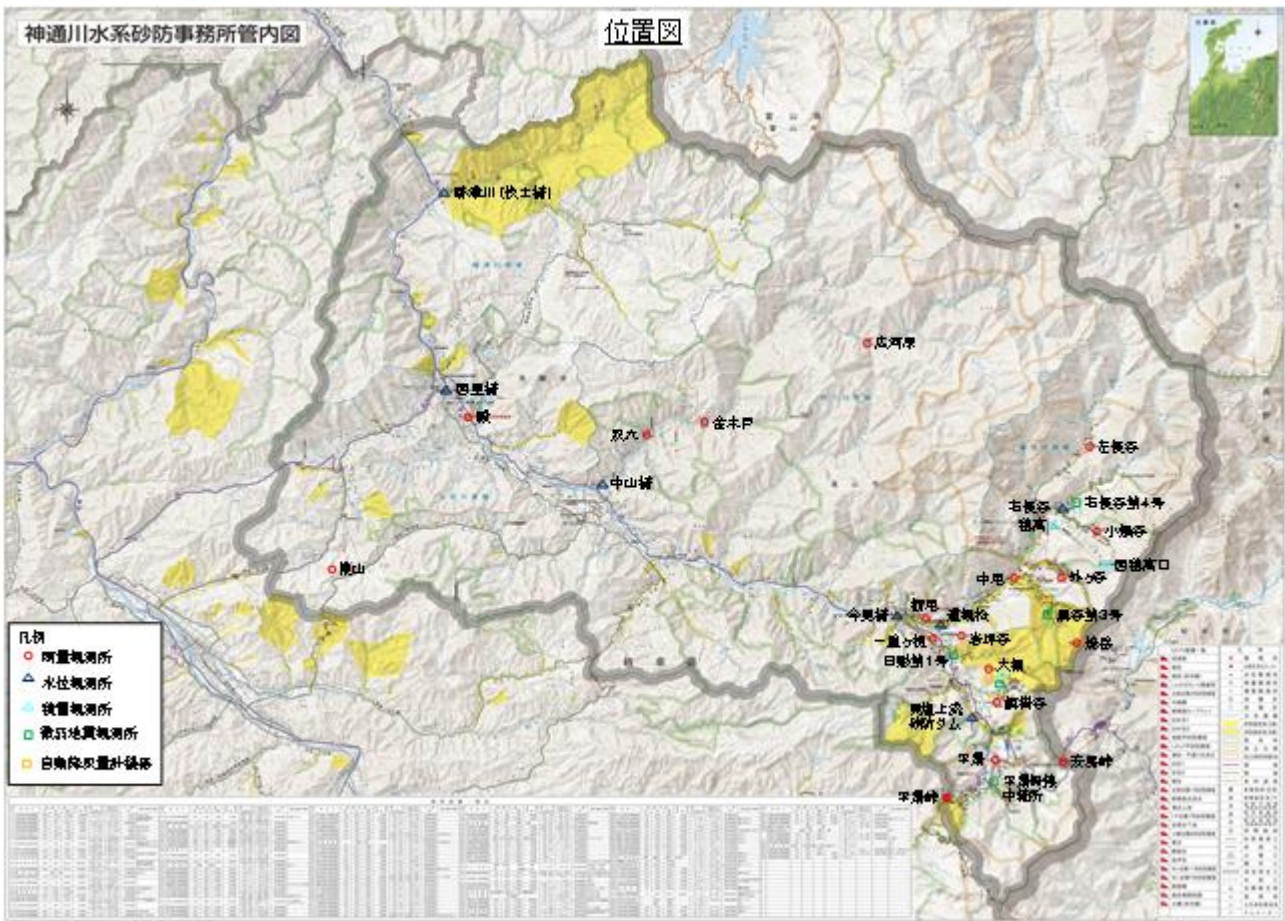
本業務は、水文観測業務規程に基づき高原川流域の水文観測所の観測機器及び観測施設の維持及び管理のため、機器の点検及び施設の維持補修、観測データ回収、自記紙の取り替え等を行い、令和3年分（令和3年1月1日から令和3年12月31日まで）の観測データを整理するものです。今回は、本業務を行う上で実施している安全・品質管理に関する事について報告いたします。

2. 業務内容

本業務では、水文観測所の機器等の保守点検、データ回収・自記紙取り替え等を1回/月の頻度で実施しております。その他、焼岳の火山活動を監視に関する機器、河川工事に関係する温泉水の状況調査等も行っております。

種目	観測所名	備考	種目	観測所名	備考
雨量	①平湯	通年観測	水位流速	①西里橋	通年観測
	②双六	〃		②中山橋	〃
	③殿	〃		③道観松砂防堰堤	〃
	④栃尾	〃		④今見橋	〃
	⑤中尾	〃		⑤牧土橋（跡津川）	〃
	⑥一重ヶ根	〃		⑥右俣谷	夏期のみ観測
	⑦左俣谷	夏期のみ観測		⑦貝塩上流砂防	閉局中
	⑧外ヶ谷	〃		⑦-1しのぶ堰堤上流	上記の代替
	⑨焼岳	〃		積雪深	①穂高
	⑩小鍋谷	〃	②西穂高口		〃
	⑪平湯峠	〃	③大棚		〃
	⑫安房峠	〃	空振	①大棚	2回/年点検
	⑬餌掛谷	〃	温泉水調査	①新穂高	通年観測
	⑭岩坪谷	〃		②中崎山荘	〃
	⑮大棚	〃	降灰量	①大棚	1回/年点検
	⑯広河原	〃	微弱地震	①日影第1号	3回/年点検
	⑰金木戸	〃		④大棚	〃
	⑱巢山	〃		⑤右俣谷第4号	〃
温湿度	①殿	通年観測		④大棚	〃
	②栃尾	〃		③平湯無線中継所	4回/年点検

業務範囲は下図の通りとなり、神通川水系砂防事務所管内のほぼ全地域にわたります。



3. 安全・品質管理

本業務の特徴として、以下の点が挙げられます。

- ① 1日に複数箇所の点検を行う（1箇所に長時間留まることが少ない）
- ② それに伴い車両での移動が多くなる（管内各地域を車両で移動）
- ③ 点検種目・機器が多様である（それぞれ安全・品質上の注意点も異なる）

上記を踏まえ、安全・品質管理を以下の通り実施をしております。

3. 1 駐車時の留意

点検時、車両を観測所近傍に駐車する際、カラーコーンで駐車範囲を示し、また点検作業中であることを車両後部に明示をし、第三者災害等の防止に努めています。



カラーコーンによる明示

動線への配慮（他車両を阻害しない）

作業中であることの明示

水文観測所等見廻り点検業務

作業実施中

発注者 神通川水系砂防事務所

受注者 株式会社 ウエノ

連絡先 0766-22-0660

3. 2 点検経路の効率化

点検は移動量そのものを極力減らす事、極力同一種目の点検に絞る事に留意し、移動の効率化（＝車両運転リスクの低減）と点検精度の維持に努めました。

例) 8月23日：西里橋、中山橋、今見橋、跡津川（牧土橋）

（跡津川を除き、国道471号沿線付近にある水位観測所）

8月24日：道観松、右俣谷、しのぶ堰堤上流、温泉水調査

（宝橋より山側の水位観測所、調査）



3. 3 多様な種目・機器への対応

点検対象機器が多岐にわたり、かつ個々の観測所の機器構成・安全指示事項にも差異があります。

例) 雨量観測所：施設屋上に設置されていることが多い→高所作業対策

水位観測所：水辺に機器が設置されている→水難への備え

焼岳周辺：活火山である→情報の共有、通信手段の確保

各観測所の状況を踏まえ、安全装備をそれぞれの状況に合わせ着用、点検簿もそれぞれの状況に合わせたものを用意。事故防止や点検漏れを防ぐ工夫をしました。

4. おわりに

本業務は新型コロナウイルスの直接的な影響が少ない（人里離れたところにある観測所、不特定多数の人との接触も少ない）ということではありますが、基本的な感染対策（社内外でのマスク着用、消毒の徹底）は実施した上で、上記安全対策・品質管理対策を実施しています。

まだ業務期間内であります。引き続き安全・品質に留意し業務を遂行いたします。